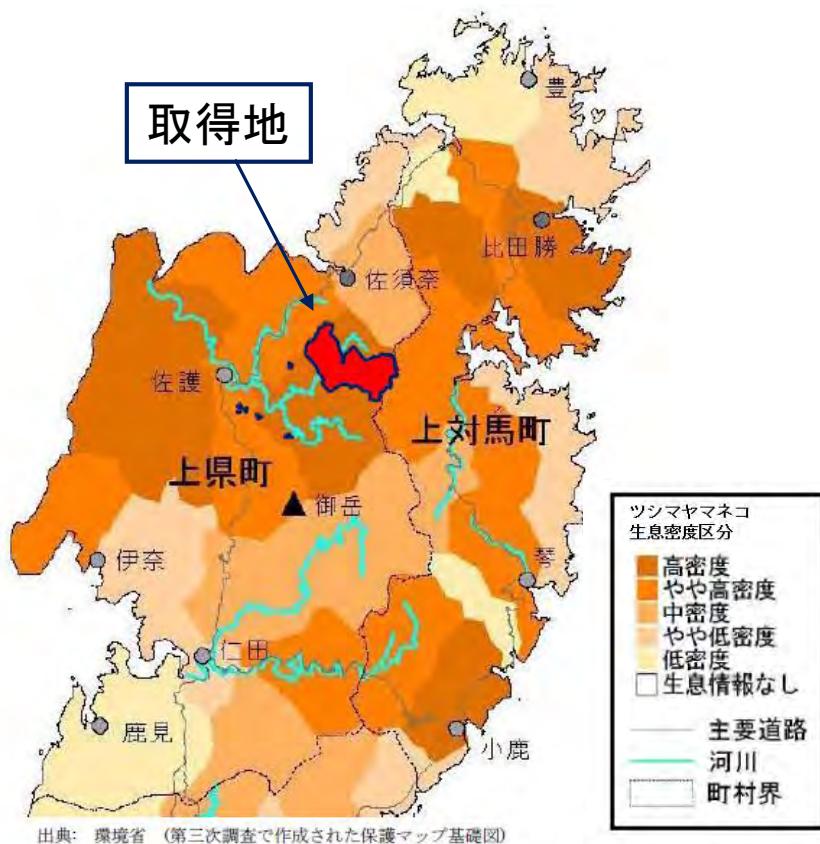


# がんばれ国境の島対馬

## ふるさと応援基金活用事業

平成20年10月からスタートした対馬市の「ふるさと納税制度」も7年目に入りました。寄付者の皆さまからいただいたご寄付は基金として積立てており、平成23年度からはこの基金を活用して事業を行っています。  
今回は、昨年度(平成25年度)の取り組み内容をお知らせします。

### 平成25年度実施事業



### 事業名: ツシマヤマネコ保護区設定事業 ～人と野生動植物との共生をめざして～ 基金充当額: 7,765,000円

(施策区分①: 豊かな自然環境の保全や歴史的景観の維持、再生に関する事業)

昨年度、ツシマヤマネコの生息密度が高い森林260ヘクタールの競売報道を受け、全国から数多くの応援メッセージや森林取得のために使ってほしいという趣旨のご寄付をいただきました。

そのお気持ちにお応えする形で、全額を森林購入費の一部に充当させていただきました。

今後はツシマヤマネコ保護区として市が適正に管理し、人と野生動植物が共生できる森林(もり)づくりを行っていきます。



あたたかい  
ご支援ありがと  
うございました。

### 事業名: 対馬市市制施行10周年 対馬アートファンタジアをもっと楽しもう! 基金充当額: 239,700円

(施策区分③: 地域が連携して支える教育・文化・スポーツの振興に関する事業)

対馬市では、平成23年より現代アートによる国際交流促進、地域再生、賑わいの創出を目的にアートファンタジアを開催しています。

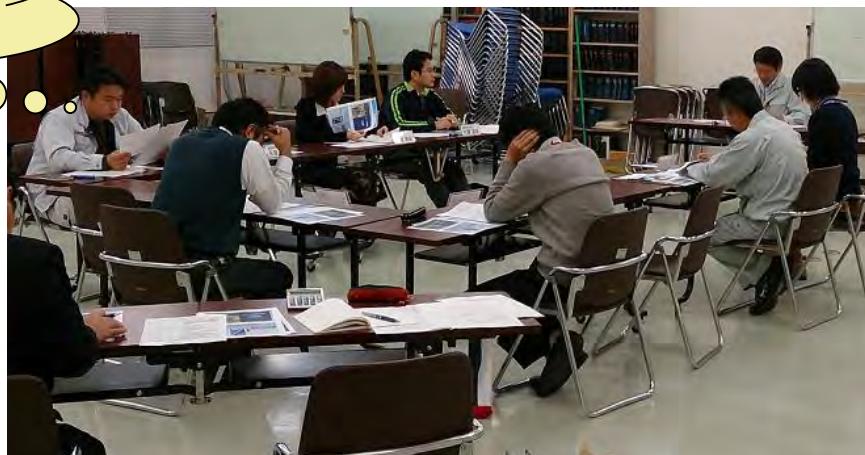
平成25年度は、目玉イベントである似顔絵キャラバン(1ヶ月間アーティスト達が対馬島内を移動しながら似顔絵を制作)の実施により、前年度より来場者数が大幅に増加。アートファンタジアの認知度向上と交流人口の拡大へ繋げることができました。



## 平成26年度も活用事業決定！

ふるさと納税で集まったご寄付を使って行う事業は、各課から選ばれた審査員に対して事業提案者がプレゼンテーションを行い、質疑応答と審査を経て、一定基準を満たした事業のみが採択され、実施されます。

平成26年度は2件の事業(926,000円)が採択されました。これからも寄付者の皆さまの意向に沿った事業へこの基金を活用し、地域の特性や地域資源を活かしたまちづくりのために活かしていきます。



庁内プレゼンテーションの様子。事業内容はしっかり議論されて決定・実施されます。この審査会は庁内研修の場としても非常に有意義な機会になっています。